

## 5月の活動内容報告

### ビーバー(BVS)隊



**5/8** 江古田の森公園における自然遊びと母の日工作、徳田教会で行われた中野5団主催の餅つき大会への参加、中野11団との合同集会の3本立て。



午前中は保護者も参加した集団遊びから始まり、公園内の草花や生き物探しをしました。集団遊びでは定番になりつつある「きこりとりす」と初めての「ねずみとねこ」をしました。その後、母の日工作としてメッセージカードを作りました。カードにはお家で出来るお手伝いを一つ書きました。お昼になると餅つきです。杵の重さを



実感し、自分たちの搗いた餅を食べました。

お餅を食べた後は、江古田の森公園に戻って中野11団さんと一緒にゲーム。「アブラハムの子♪」にはスカウトたちが大興奮でした。



**5/15** 「お話をしよう」をテーマに隊集会を行いました。まずは声を出さずに一列に並ぶゲームです。初めは戸惑っていたスカウトたちも測りあって背の順に並んだり、指で数字を表して誕生日順に並びました。その後はどっち派ゲームをしてみんなの好みがちよっとわかりました。場所を変えて、「いつどこでだれがなにをした」ゲームです。各自それぞれ紙に書いてシャッフル。友達のカードとく

つつくと笑える文章になって大盛り上がりでした。最後に3つの場面が表せる「六面返し」を作り、みんなの前で作品の発表をしました。ひっくり返す手順は難しかったね。



**5/29** 久しぶりの山歩きは高尾山。初めての高尾山というスカウト(家族)も多かったけれど、ちょっとハードな6号路で山頂を目指しました。コース中にある水辺で涼み、鳥の声を聞き、時おり吹く風に癒されながら、スカウトみんな頑張って最後まで歩き切りました。最後の長い階段はさすがに堪えたようでしたが「やっとついた～」と達成感を得ていました。山頂から見た景色は最高で富士山もくっきり見えました。そこでお昼ごはんを食べました。下山は1号路で自然観察や高尾山の観光をしました。課題のスタートでもらったスタンプ「599」は高尾山の高さでした。もう忘れな

いね。ケーブルカーにも

乗りました。初めてのケーブルカーも楽しかったね。他の団のカブ隊やボーイ隊のお兄さん、お姉さんにも会って挨拶を交わしました。挨拶を交わすとお互いに笑顔になれました。



### カブ(CS)隊



**5/8** 隊組集会 5月のテーマ「記号は何でも知っている！」標識と安全を学ぶ第一回集会。まず、KYシートにより危険な行動を挙げて話し合い。その後、身の回りにあるサイン/記号/標識/マークなどで人



に伝えることを理解して、道路標識について考えました。色は信号の色と同じ傾向で、赤は禁止/規制、黄色は注意、青は指示など。形も丸は禁止、三角は規制、四角は情報など。それらを知った上で近辺の道を歩いて標識探し。みんなちょっとは理解が深まったかな？



**5/15 組集会** 5月のテーマ「記号は何でも知っている」2回目。前回は記号やマークによるメッセージとして、道路標識に込められた安全について学びました。チョットおさらいして宿題の家の周りの安全や避難場所などをチェックした後、ボーイスカウトのハイキングで使う追跡記号について学びました。その合間にカッコいいゲストが



登場！交換留学生でアメリカから来ているHirokiさんがイーグルスカウトの制服でアメリカのボーイスカウトについてお話ししてくれました。質問コーナーでは みんな興味津々で色々なお話を聞きました。



### **5/21 あすなろ地区合同くまキャンプ**

来年からボーイ隊に上進するくまスカウトが、初めての楽しいキャンプ体験と最上位スカウトとしての心構え訓練キャンプ。地区内の杉並5/6/11/13、中野8団合同で、大宮八幡スカウトの森キャンプ場で行われました。指導者達は地区の円卓会



議で計画準備しての初日、大宮八幡参拝からスタート。混合組を編成し組長他役割を決めた後、くまスカウトとしての心構えなどを聞き、初めてのソロテントの設営スタートしました。が、お昼ぐらいから豪雨が続きみんな水浸し。雨が上がってからは、くま訓練としてロープ結び、国旗掲揚とナイフの扱いを習ってチャレンジ章“フィールドマスター”に挑戦。小枝を削



って箸を作ったり、板に穴をあけたりを体験しました。夕食に向けた火起こし炊事訓練でカレーライスを作ってから、キャンプファイヤーで歌って踊って、楽しい時間を過ごしました。しかしその後またまた豪雨に！長時間降り続きましたが、テントの中からみんなでお話したりゲームしたりと、明るく過ごしたくまスカウトのパワーに、リーダー一同、心強く感じていました。

### **5/22 あすなろ地区合同くまキャンプ2日目。**

前日夜半から降り続く雨が明け方には上がり、くまスカウトも早朝から目を覚ましてマキ拾いにガサガサ。全体がびしょびしょな中、初めてのキャンプを楽しんでました。濡れたマキでは中々火がつかせませんでした。朝ご飯のラーメンを食べて、朝礼、モー



ニングゲームのあと2日目のプログラムがスタートです。この日は手旗信号体験からスタート。その他歩測による計測、コンパスによる八方位、救急/避難などみんなで取り組みました。仕上げのゲームは2日間で学んだ技術を使った宝探しゲーム。コンパスと足を使って宝物をみんなで探しました。無事、大きなけが人もなく、2022年度のくまキャンプは終了し



ました。みんな良い顔で、やくそくとさだめを実践し今年度の組長次長として、頑張ってくれと思います！関係者の皆様に深く感謝です。

**5/29** 5月の標識テーマの締めくくりの追跡ハイキングとして、渓谷に出かけました。青梅線軍畑（いくさばた）駅から指令書を解読して、組ごとに追跡記号を追ってスタートしました。途中、中野からつながっている青梅街道を通過して溪流沿いの道へ。澤乃井のつり橋を通過して、寒山寺で手紙を見つけて、一つ目の課題に挑戦！お堂の天井に描かれている生き物を調査。ニワトリとか菊などの植物、





鬼もいました。その後御岳橋の下が2つ目のチェックポイント。チャレンジ章“地質学者”の項目の1つである、5つの色や形に特徴のある岩石や鉱石を拾い、名前や特徴を調べるのは宿題に。その後、やっと奥多摩フィッシングセンターに到着し、ニジマス釣り。チャレンジ章“フィッシャーマン”に挑戦の魚拓を取って、炭火焼でみんなで食べました。暑くてみんなくたくただったけれど、色々なものに挑戦した、楽しい一日でした。

釣りの時には、青梅2団の方に魚拓取りなどいっぱい助けて頂いて感謝です。最後に、最

優秀組はケタハズレにでかいニジマス(鮭という噂も)を釣った2組が表彰されました。



### ボーイ(BS)隊



**5/3~5** 今年上進したスカウトを歓迎するキャンプ、『ウェルカムキャンプ』を行いました。場所は八王子市の地蔵山野営場。今回はキャンプ生活の基礎を思い出すため、生活の場であるテントや班サイトの設営、ガスコンロやIHではなく焚火を使った野外料理をしっかりと訓練しました。夜には、暗闇の中で自分の互換だけが頼りのナイトゲームやキャンプファイヤーを行いました。今回知った、思い出したノウハウを武器に、夏のキャンプへ向けて準備していきます。

**5/15** 班集会を行いました。連休中に行ったキャンプの振り返りをしました。

**5/22** 次週に行われるハイキングに向けて、リーダーとGB(グリーンバー：班長と次長)でコースの下見を行いました

**5/29** ハイキングを行いました。キャンプとは少し違い、自分の体力と脚力が武器になるハイキング。同時に、渡された地図を正しく読み解き、目的地へ迷うことなくたどり着く…久しぶりのハイキングはどうだったかな?体をすこやかに、そして身に付けたノウハウを忘れないよう日々の備えを!

### ベンチャー(VS)隊



**5/3~5** ボーイ隊のキャンプに参加しました。ジュニアリーダーとしてボーイ隊をサポートし、キャンプ生活のノウハウや野外工作の指導にあたりました。

**5/8** カブ隊集会に1名が奉仕として参加しました。

この日から、カブ隊ジュニアリーダーとして奉仕を開始しました。

**5/22** ボーイ隊のハイキングの下見に参加しました。

**5/29** ボーイ隊のハイキングに参加しました。前週の下見を基にコースを設定し、コース上でボーイ隊スカウトが取り組む課題の整備を行いました。

### 5月のスカウト進歩情報

BVS	H. Y. くん	小枝章5本目
	Y. U. くん	小枝章3本目
	T. N. くん	小枝章1本目
	K. T. くん	小枝章1本目
	T. K. くん	小枝章1本目
	Y. K. くん	小枝章1本目
	M. N. さん	小枝章1本目
CS	Y. U. さん	フィールドマスター
	S. O. くん	フィールドマスター
	B. K. くん	フィールドマスター
	K. S. くん	フィールドマスター
	T. T. くん	フィールドマスター
	R. T. くん	フィールドマスター
	A. T. くん	フィールドマスター
	T. Y. くん	フィールドマスター
	Y. I. さん	料理家



# ちよつぽつといと

活動で見つけたほのぼの話

6/5に総会と各隊保護者会を行いました。たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。また総会資料についても昨年に引き続き、Google Driveでの共有とさせていただきます。総会でご相談させていただいた通り、今後はこの「お知らせ」についてもオンライン化を検討していきたいと考えています。また、オンライン化にあたり、IT関連作業にお詳しい方には、是非ご協力をいただきたく、よろしくお願いたします。ご協力いただける場合には、所属隊の隊長にご連絡ください。



- \* 活動の写真は団のGoogle Driveで共有しています。ご希望の方は各隊隊長にご自身のGoogleアカウントをご連絡ください(Googleアカウントをお持ちでなくご希望の方はアカウントを作成ください。無料で簡単に作成できます)。
- \* Facebookページで活動の様子を報告しています。アカウントがなくても閲覧いただけます。  
<https://www.facebook.com/nakano8/>

## リーダーの活動

- 5/8 団会議
- 5/9 東連部門別副ミッショナー集会
- 5/14 地区ボーイスカウト講習会打合
- 5/14 地区円卓会議
- 5/15 リーダー会議(OL)
- 5/16 地区委員会
- 5/21 東京連盟総会
- 5/22 地区ボーイスカウト講習会
- 5/22 地区ボーイスカウト講習会奉仕
- 5/23 地区ミッショナー会議
- 5/29 団会議(OL)

## スカウト豆知識

### 「ビーバー部門とその歴史」

スカウト活動では、年齢に応じていくつかの部門に分かれています。カブ隊未満の年齢の子を対象にした部門をビーバー隊といいます。教育の低年齢化の進行という時代の要請にこたえ、1970年頃からいろいろな国々でカブ年齢未満児を対象としてプログラムの研究が行われた結果、スカウト運動の一部門としてビーバー隊に正式に採用されるようになり、1980年代より国際的に広がりました。国ごとに生活様式や社会の仕組みがことになっていることから、それぞれに国の習慣、教育、スカウティングの伝統に応じた展開を図り、多彩な活動となっています。

日本でも、同じ頃から「カブ隊の集会についてくる弟妹や、指導者の子どもたちをなんらかの形で世話したい」という要望があがり、1986年(昭和61年)より、ビーバー隊が本格的に採用されることになりました。

ビーバー隊という名前は、最も古くからこの部門の活動を始めたカナダでつけられた名前です。カナダでの取り組みは、この年齢の子たちへのスカウティングの先駆者として、少なからず世界の多くの国々に影響を与えています。国によっては、違う名前の場合もあります。(アメリカの「タイガーカブ」ニュージーランドの「ケア」、デンマークの「マイクロスカウト」など)

ビーバースカウトは、小学校入学前の1月から小2までの子ども達です。その年代にわかりやすいように、「みんなとともになかよく遊ぶ」「自然に親しむ」「楽しみや喜びをわかちあう」という3つのことにねらいを置いて活動を展開しています。